

医薬品の主作用・副作用とは！？

しゅさよう
主作用



いやくひん
医薬品

ふくさよう
副作用



主作用

は、病気の治療や予防、身体しぜんちゆりょくの自然治癒力を助けてくれるなど、
好ましい働きのことです。

副作用

とは、飲んだ後にぶつぶつがでたり、眠くなったりするなど、
本来の目的以外の好ましくない働きのことです。

！ 医薬品を使う前に説明書をきちんと読もう！

説明書は、医薬品の箱の中に必ず入っています。主作用や副作用の他にも、
医薬品を 飲む回数、飲む時間、飲む量、その他に注意することなど、
大切なことがたくさん書かれています。医薬品を使う前に必ず目を通し、
使い終わるまで医薬品と一緒に保管しておきましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 — 保健室に薬剤師が来ます 》
おくすりナビの内容、医薬品や健康、薬物乱用など
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
5月20日 16時00分～16時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(薬剤師)
講師 岡本晃典(薬剤師)
6年生 村中佑晟・木山美佳

